

新指针对応「情報公開文書（当院単独研究用）」

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院脳神経内科、脳神経外科・脳血管内治療科で実施している研究へご協力のお願い

1. 研究課題名

急性期脳梗塞に対する Vitrea®を用いた脳灌流画像所見と転帰および病型との関連

2. 対象となる方

2019年1月～ 当院脳神経内科、脳神経外科・脳血管内治療科で急性期脳梗塞と診断され入院加療を受けられた患者さん

3. 研究の目的

当院で入院加療を行う脳卒中患者さんは、主に脳神経内科ないし脳神経外科・脳血管内治療科で担当しています。この際、患者さんの診療において必要な情報やさまざまな検査、また治療経過についてのデータをまとめています。これらは各々の患者さんの診療に活かすだけでなく、患者さんの脳卒中発症後の経過を予測する上でどの因子が関わっているのか検討する上でも重要です。またこの因子を明らかにすることで、適切に治療法を選択する指標を作っていくことを目的としています。

本研究では特に来院された際に頭部 CT で脳灌流画像を撮像した方を対象として、その画像の所見と脳梗塞発症後の身体機能、また脳梗塞の病型予測と関連がないか調べることとしています。

4. 研究期間

2019年1月（倫理審査委員会承認後）～2027年3月31日（予定）

期間は延長する可能性があります。

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診療の一環として施行し収集した、臨床情報(診断名、生年月日、性別、発症日、入院日、脳卒中をはじめとした既往歴、発症前の状態、入院時の身体所見)、採血所見、頸動脈エコーや経胸壁心エコー図などの生理検査データ、CTやMRI、脳血管撮影時の画像データ等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院救命救急センター 副部長 江藤 太

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。

この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえで使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、試料・情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院救命救急センター 江藤 太